

イノベーターズ

持続可能性は世界中の企業にとって緊急の課題であり、特に 2030 年が明確な目標を掲げる中で顕著です。一部の企業は自社のビジネス慣行を伝統的でありながらも硬直的だと考えるかもしれませんが、日本企業はこれらの現代的な課題に取り組むために懸命に取り組んでおり、革新的な発想と新技術を組み合わせて環境分野で着実な進展を遂げています。

27.1%

過去 10 年間の日本の温室効果ガス排出量の削減

(最新データ、2013-2023 年、環境省)

直富商事株式会社 代表取締役 木下繁夫

廃棄物管理会社は、この分野における優れた実践の促進に注力しています。「近年、政府は廃棄物管理業界全体の基準を引き上げており、この分野はより持続可能な未来へと向かっています。今後も、廃棄物管理に対する社会の認識を高め続けていく必要があります。」